

“80歳のわたし”へ。



お元気ですか？

花の色はキレイですか。
 友達とおしゃべりを
 楽しんでいませんか。
 食事はおいしいですか。
 自分の好きな食べ物を
 我慢していませんか。

毎日は楽しいですか。

行きたいところに、行きたい時に、
 自分の思うように、
 歩いていくことができますか。

80歳のわたしへ.....	1・2P
介護職の本質.....	3・4P
介護職の魅力.....	5・6P
介護の専門家にインタビュー.....	7・8P
介護職員から見た多職種連携!.....	9・10P
連携する職種の専門家にインタビュー.....	11・12P
介護業界への入り方とキャリアステップ.....	13・14P
介護職員が活躍できる背景.....	15・16P
介護の未来.....	17P
あとがき.....	18P

想像してみよう。

“80歳のわたし”は、誰と一緒にいるだろう。毎日どんな風に過ごしているだろう。
 “80歳のわたし”のカラダは、自分の自由に動くのだろうか。ココロは、いつも明るく元気だろうか。
 “80歳のわたし”は、一体何に困っているだろうか。

❖ 思い浮かべてみてください ❖

年齢とともに運動機能の低下、
 病気による障害、それに伴い気力の
 低下があらわれる場合もあります。

例えば、高齢になると、日常生活に
 次のような不自由が生じてきます。

- 手** ペットボトルが開けられない。
蛇口が回せない。箸がもてない。
- 足** よろけて一人でトイレにいけない。
バスタブをまたげない。
- 目** かすむ。見えにくい。
- 耳** 聞きとりにくい。

“80歳のわたし”は
 どのようなことに
 困っていますか？

1



2

“80歳のわたし”は
 どのような暮らしが
 したいですか？



3

“高校生のわたし”は、
 “80歳のわたし”に会ったら
 どんな手助けを
 してあげたいですか？

